

# 令和 6年度予算見積調書

課室名：河川環境課  
 担当名：河川維持担当  
 内線：5114

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P114	i-Construction推進費（河川）			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修調査費		
事業期間	令和 3年度～ 令和 8年度	根拠法令	河川法第9条、河川法第15条の2		針路	01	災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	8, 9, 11	
					分野施策	0103	治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	8-2, 9-5, 11-b	
1 事業概要	県管理河川の3D測量を実施する。 全ての建設生産プロセスにおいて3Dデータを活用することで、建設業のDXを推進する。  3D測量の推進 240,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 県管理河川（山付河川を除く1, 200km）の状態の3D点群データ化を図る。  (2) 事業計画 職員の現場点検と併せて実施することで、河川の変状を把握し、きめ細やかな河川の維持管理に繋げる。  (3) 事業効果 ・3Dデータを活用することによる建設産業の生産性向上 ・面的かつ連続的な河道形状の把握が可能となり、きめ細やかな河川の維持管理が可能となる。 ・災害時の迅速かつ適正な機能回復や、洪水による被害箇所の可視化が可能となる。 ・計測したデータをさらに加工することで、堤防の弱点箇所（堤防高不足や変状）や河道の変状（堆積や侵食）の可視化が可能となる。 ・ICT施工の基盤データとして、各工事毎に行う測量作業の省力化を図ることができる。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				【活動指標（アウトプット）】 県管理河川（約200km）の3次元点群データの整備						
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90% 交付税措置 なし				【活動指標（アウトカム）】 3次元点群データを活用した県管理河川の維持管理の実現						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 ア 事業費に係る人件費 9,500千円×1.2人=11,400千円 イ 組織の新設、改廃及び増員 なし										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
		県 債								
決定額	240,000	240,000						0	0	
前年額	240,000	240,000						0		

## 事業内訳書

事業名	i-Construction推進費（河川）		
単位事業名	i-Construction推進費（河川）	予算額	240,000千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	240,000	0	県単独河川改修事業債
合計	240,000	0	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	240,000	0	県管理河川の3D測量業務委託
合計	240,000	0	